

## 2 1. 新規褥瘡発生率

### 算式

【分子】 分母対象例のうち、入院中に新たに「DESIGN-Rでd2以上」又は「NPAUP分類でステージⅡ以上」に該当する褥瘡が発生した患者数

【分母】 新入院患者数

### 定義

入院患者における新規褥瘡の発生割合

### 指標の解説

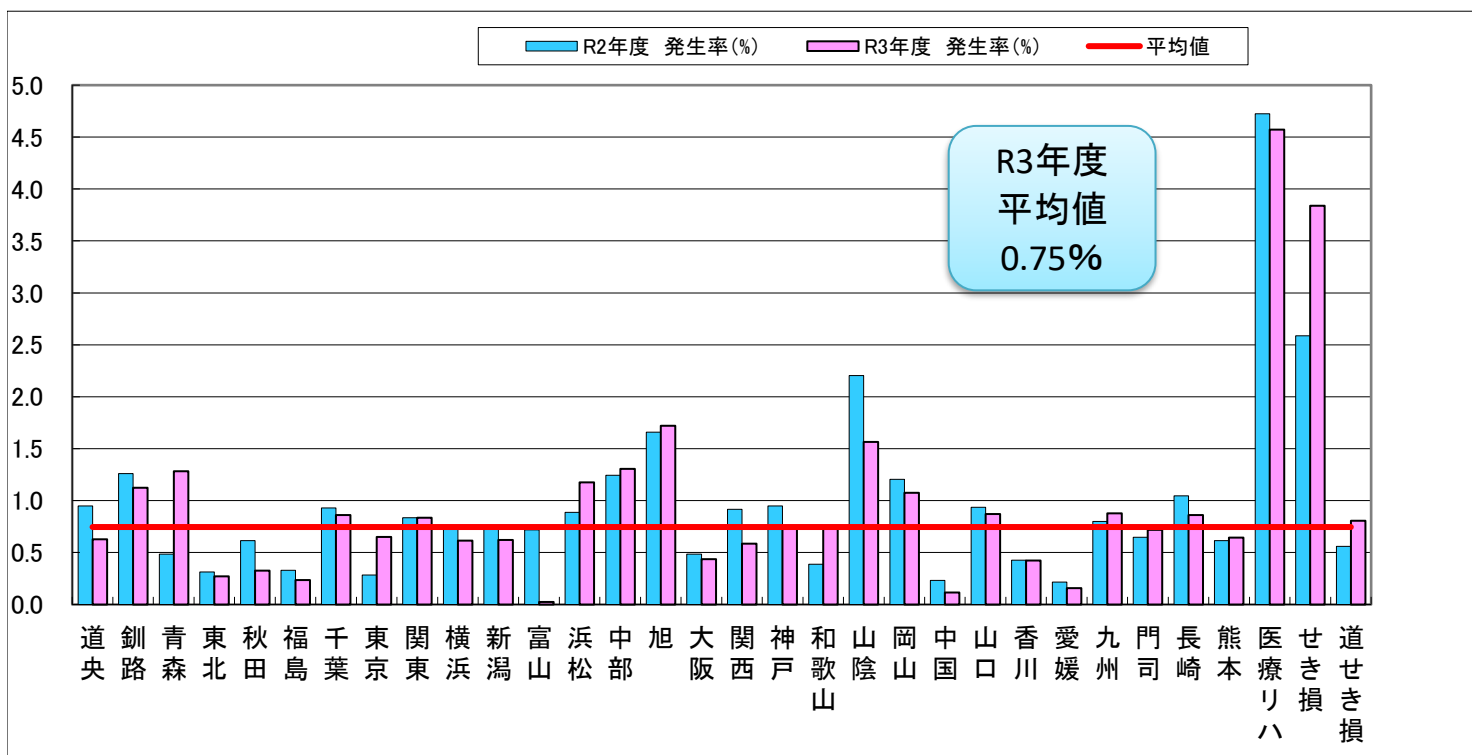
施設調査より抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、病院での褥瘡予防の取組みについて褥瘡の発生状況から評価する。

褥瘡は、患者のQOLの低下により、在院日数の長期化や医療費の増大につながる。褥瘡対策は、医療の重大な項目のひとつに取り上げられ診療報酬にも反映されている。

発生率が低い場合には、患者のQOL向上に積極的に取り組むとともに、効率的な医療を提供していると評価できる。

## 2.1. 新規褥瘡発生率



No	施設名	R2年度			R3年度		
		分母	分子	発生率(%)	分母	分子	発生率(%)
1	道央	2,426	23	0.95	2,872	18	0.63
2	釧路	8,561	108	1.26	8,624	97	1.12
3	青森	3,914	19	0.49	3,972	51	1.28
4	東北	10,232	32	0.31	10,346	28	0.27
5	秋田	1,623	10	0.62	1,846	6	0.33
6	福島	5,766	19	0.33	5,541	13	0.23
7	千葉	10,446	97	0.93	10,579	91	0.86
8	東京	5,954	17	0.29	6,290	41	0.65
9	関東	13,297	111	0.83	14,016	117	0.83
10	横浜	15,783	119	0.75	16,248	100	0.62
11	新潟	1,780	13	0.73	1,609	10	0.62
12	富山	3,751	27	0.72	3,999	1	0.03
13	浜松	5,192	46	0.89	5,187	61	1.18
14	中部	9,092	113	1.24	9,185	120	1.31
15	旭	3,739	62	1.66	4,122	71	1.72
16	大阪	18,370	89	0.48	18,604	81	0.44
17	関西	16,611	152	0.92	16,419	96	0.58
18	神戸	5,060	48	0.95	5,599	41	0.73
19	和歌山	7,504	29	0.39	7,746	57	0.74
20	山陰	6,671	147	2.20	6,835	107	1.57
21	岡山	6,302	76	1.21	5,478	59	1.08
22	中国	7,799	18	0.23	7,828	9	0.11
23	山口	4,381	41	0.94	4,365	38	0.87
24	香川	8,883	38	0.43	8,508	36	0.42
25	愛媛	3,263	7	0.21	3,182	5	0.16
26	九州	8,990	72	0.80	9,360	82	0.88
27	門司	2,624	17	0.65	3,062	22	0.72
28	長崎	5,253	55	1.05	4,762	41	0.86
29	熊本	9,265	57	0.62	9,020	58	0.64
30	医療リハ	381	18	4.72	328	15	4.57
31	せき損	1,160	30	2.59	1,120	43	3.84
32	道せき損	1,432	8	0.56	1,611	13	0.81
合計		215,505	1,718	0.80	218,263	1,628	0.75
平均	500床以上	13,898	103	0.74	14,136	90	0.64
	400床以上	8,242	52	0.63	8,272	54	0.65
	300床以上	6,286	62	0.99	6,232	56	0.91
	300床未満	2,372	21	0.90	2,520	23	0.92